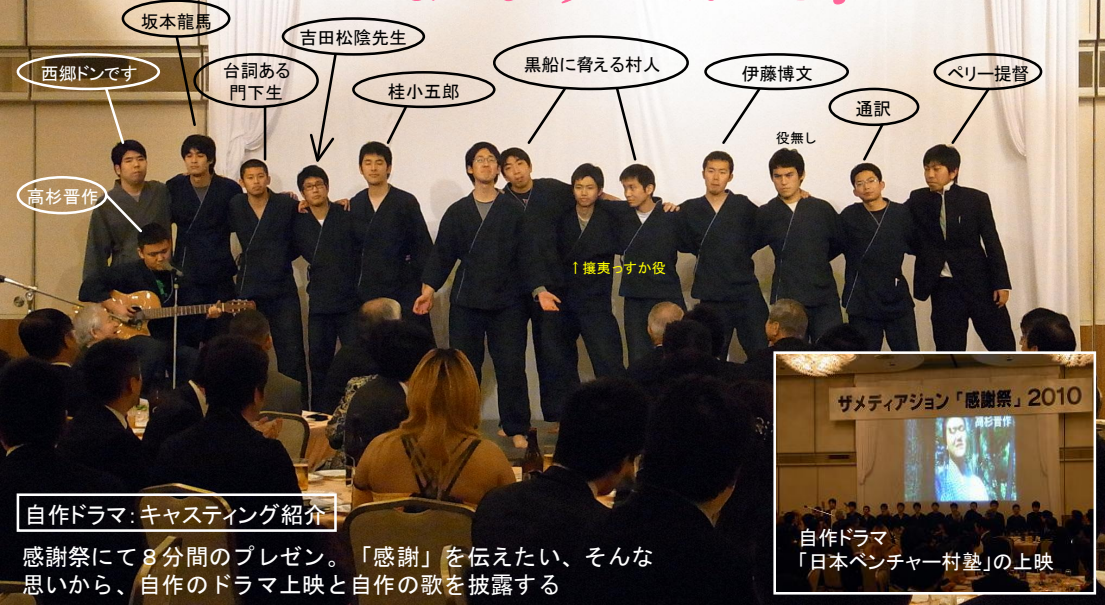


感謝ソング熱唱で燃え尽る。ベンチャー村塾の役者たち。

ザメディアジョン「感謝祭」2010

口先だけでは♪ まっぴらごめんだぜ♪



自作ドラマ: キャスティング紹介

感謝祭にて8分間のプレゼン。「感謝」を伝えたい、そんな思いから、自作のドラマ上映と自作の歌を披露する



人は誰でも感謝する♪

↑ギター1本と全員で合唱。「感謝」をテーマに、作詞作曲すべて学生たちで行った。



♪今日も誰かに感謝する♪

↑作務衣で舞台上がり、一時はどうなるかと思ったが、歌に合わせて観客から自然と手拍子が…。

講義の合間の練習ひとコマ 感謝ソングの曲合わせ



↑カメラワークをシュミレーションし、演技と台詞を何度も繰り返す

ドラマ(映像)と歌、舞台上で8分間勝負！ ベン大生が伝えたかった感謝の気持ち。

11月22日の東京・吉祥寺、ザメディアジョン感謝祭の懇親会の場で、ベン大生に出し物を…という絶好のチャンスがやってきた。笑リンピックで無念な思い引きずったままの卒業はイヤだ、という思いで快諾。そこで、感謝祭だけに、お笑いをやっても仕方が無い。「感謝」というテーマで頭をひねり、約2ヶ月間の準備と練習を重ねた。幕末の松下村塾をテーマにしたドラマ「日本ベンチャー村塾」のビデオ上映。その映像後に、自作の歌を披露する、という流れ。感謝祭に来られたゲストの方々は、当大学の会員企業様をはじめ講師の方々も多い。2期生たちの体を張った感謝の想いは、ミスることなく、しっかり伝えられたのである！

自作ドラマ・撮影シーン

＜あらすじ＞ 時は幕末。ペリーの乗った黒船が日本へ。おびえる村人たち。そこで日本ベンチャー村塾の若者たちが、師吉田松陰の下へ駆けつけ、教えを請う。「攻めてくる外国から、日本を救うには、どうすればいいんですか？」と。師は、答える。「感謝の力です」。「じゃあ、感謝って、一体どうすればいいんですか？」との再質問に、師は…。



↑「感謝」の台詞も大声で繰り返す



松陰先生のお墓に挨拶



↑クランクイン前に松陰先生の墓前に手を合わせる